

令和6年度 第2かろーれキッズ川鶴 職員・事業所自己評価表 集計結果

配布数；6 回答数；6 割合；100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	分からない 該当なし	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	0	0	少人数での活動には適していますが、区切られた空間があれば更に個別療育の幅が広がるため改善を検討してまいります。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	4	0	0	規定人員+1.5ですが発達の特性に合わせた職員配置ができるようにしていきたいと思えます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	0	0	環境設定においては、常に見直しながら、出来る限りの工夫と改善を行っています。空間によっては、更なる改善が必要なため徐々に整えていく予定です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	0	0	発達の特性に合った活動が出来る空間作りを目指していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	0	5	0	1	常勤職員は日々、反省点や改善点を話し合い、共有しておりますが、非常勤職員との日々の丁寧な共有が不足しているため、全職員との共有が適切に行える方法を検討していきます。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4	0	1	今年度のアンケート結果については3月に施設内での共有を行うため、まだ、反映されていません。日頃のコミュニケーションを大切に、モニタリングを通して、業務改善に努めております。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	2	3	0	1	結果を踏まえ、3月に施設内での評価を行います。自己評価表及び保護者向け評価表の結果につきましては3月に『カロ-HP』、『コードモン』に公開いたします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	0	1	保護者による外部評価は行っておりますが、全くの第三者による評価につきましては、今後、前向きに検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3	0	0	常勤職員は、外部研修へ出来る限りの参加を行っております。非常勤職員が必要な研修に参加できるように検討してまいります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	改善目標、工夫している点など
適切な支援に提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	2	0	0	保護者のニーズが子どもにとって、必ずしも全てではないので、『子どもの最善の利益』について考え、共通の理解のもと一緒に支援していくことを大切にしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	5	0	1	各発達検査結果等を参考に活用しております。発達の標準に関しては知識として得ていますが、ツールとしては使用できていないため、今後検討してまいります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	4	0	0	モニタリングを通して、次のステージへとスムーズな接続ができるために必要な支援とは何かを意識して、設定し作成しております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	3	0	0	その時々の子どもの状況に応じて、多少の変更が生じることはありますが、概ね、目標を達成できるように支援を行っております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	0	0	主に、基準上の常勤職員とでプログラムの立案を行っております。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	0	0	習慣化することで身に付くことは、一定期間の固定で活動を行い、定期的に季節による行事や保護者参加型イベントなどを取り入れることで固定化しないようにしております。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	3	0	0	個別活動、集団活動の両方を意識して作成しております。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	0	支援開始前か、前日の営業時間終了後に翌日についての打ち合わせを行っております。非常勤職員とは当日の支援前に行っております。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	5	0	0	保育力・療育力の向上のため、その日の支援を振り返り、評価・反省を行っております。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	0	業務日誌として、毎日、個別の記録を取り、打ち合わせ時に検証を行い、改善に努めております。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	0	0	少なくとも、半年に一度のモニタリングにて評価・反省・見直しを行い、必要と判断した場合は適宜、関係機関連携会議を開催するとともに、見直しを行っております。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	改善目標、工夫している点など
関係機 や保 護者 との 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	0	1	基本的には、児童発達支援管理責任者・管理者が参画しております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	0	0	適宜、必要な時には各機関と連携し、支援を行っております。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	0	6	現在、医療的ケア児、重症身体障害児の利用はありません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	0	6	同上
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	0	0	移行先との定期的な情報共有を行い、支援の方向性の確認と共通認識のもと相互理解を大切にしております。また、将来的に移行先で長い期間・長い時間を過ごせることが出来るようになることを目標とし支援を行っております。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	4	0	1	同上
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	1	他のセンターや事業所との連携は適宜行い助言を受け、連絡協議会の研修に必ず参加をしております。
	㉘	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	0	学童(年長児対象)・児童館・保育園等との交流を取り入れていき、今後、定期的な活動ができる機会を増やしていければと思います。
	㉙	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	0	0	周知があった時は、積極的に参加していきたいと思います。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0	送迎時には必ず、気が付いたことなどについて伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持てるように努めております。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	0	1	モニタリングを通して、個別に子どもに対する対応については一緒に考え、実践しやすい方法の提示は行っていますが、全家庭向けのものを行えていないため、今後は定期的に保護者が参加したいと思えるようなペアレントトレーニングの開催ができるような計画を検討してまいります。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2	0	0	契約時に、双方で書類を確認しながら説明を行っております。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	2	0	0	ガイドラインに沿って、支援計画を作成し、必ず保護者からの同意を得ております。
	③⑭	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	0	傾聴を大切にし、送迎時や電話、面談等で必要な助言と支援を行っております。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	0	0	今現在、父母の会・保護者会はなく、保護者同士が連携できる機会はないですが、きっかけ作りの場として保護者参加型の行事を定期的に提供しております。ニーズがあれば、その都度対応してまいります。
	③⑯	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	0	苦情相談受付の体制については『重要事項説明書』に記載されております。場合によっては、本部と連携をとり適切に対応しております。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護事保護者に対して発信しているか	3	3	0	0	毎月、お便りで子ども達の様子を伝えHP上に掲載しております。連絡体制等につきましては、今年度導入した『コドモン』を活用しております。また、災害等の緊急時の連絡体制につきましてはの周知を徹底してまいります。
	③⑱	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	0	取り扱いについては、法人内で十分注意しております。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2	0	0	保護者との共通理解や情報共有を丁寧に行うことを意識し、情報伝達のための効果的な手段については、日々、模索しながらの実践を行っております。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	0	0	今年度は地域に開かれた行事として、『買い物』『夏祭り』『ハロウィン』『餅つき』などを行いました。今後も事業所を理解してもらい地域に受け入れてもらえるような交流内容を検討してまいります。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	6	0	0	職員への周知は共通システムや紙ベースでされていますが、保護者には周知されておらず、感染症対応のみ、行政からの通達があった時に周知しております。今後は、保護者向けの各マニュアルを作成し、契約時に周知できるように検討してまいります。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	4	0	1	地域の消防訓練に年2回参加し、事業所として年2回～3回実施しておりますが、今後は大きな災害を想定した訓練も実施していきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	2	0	1	確認をしっかりと行い、必要に応じて、保護者から状況を確認し、職員同士の共有を行い、安全に過ごせるように配慮しております。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	0	6	今現在、アレルギー児の利用はありませんが、今後利用希望があった場合は適切な対応ができるようにしていきます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか有しているか	5	0	0	1	作成の頻度が少ないので、日常のちょっとした『ヒヤリハット』を全職員がすぐに記録ができるように検討してまいります。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	0	1	研修を基本とし、ちょっとした子ども達の変化を見過ごさないように注意深く観察を行い、保護者の様子についても話しやすい場面の設定と、気持ちを引き出せるような雰囲気作りを心がけております。必要と判断した場合は、各機関と連携を行い、防止に努めております。

④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	3	0	2	『利用契約書』の内容に記載されており、契約時には説明を行い了承を得ておりますが、基本的には身体拘束は行いません。危険を回避するために、他害行為等を制止する場合があります。
----	---	---	---	---	---	---

